

ぐるぐる回る大いなる意識、日の出から日の入りまで

グルマーイの誕生日のお祝いの報告

2018年6月24日

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム

第2部

2018年のグルマーイの誕生日のお祝いに参加した人たちより

優しさと共に動く

「シュリー・グル・ギーター」のサツァングの後、人々によって作られた誕生日の日程には、アンナプールナー・キッチンでセーヴァイトが用意した豪華な朝食がありました。彼らが料理したあらゆるおいしい食べ物の香りが、シュリー・ニーラーヤの外まで漂い、私たちをアンナプールナー・ダイニングホールへ向かうよう誘いました。

私たちが、「シュリー・グル・ギーター」の朗唱をした恍惚(こうこつ)感に揺れ、マントラの音が内側でなお鳴り響いている状態で到着すると、見事に勢ぞろいしたとりどりの色や香りや形に迎えられました。ホールの長さの4分の3を超えて伸びる配膳台には、この日にふさわしい朝食のごちそうでいっぱいでした。

きっとあなたの好奇心が募っていることでしょう。そのごちそうが何だったのかを知りたいに違いありません。では、思い出せることを皆さんにお伝えします。まず最初に、シッダ・ヨーガ・

アーシュラムの最も有名な料理、セイボリーシリアルがあり、ショウガと温かい香辛料の香りがします。果物とふっくらとしたレーズンを散らしたおいしいミューズリーもありました。

その他には？ ドーナツがきつね色に揚がり砂糖に浸してありました！ クロワッサンはヘーゼルナッツとチョコレートのスプレッドが塗られていました！ グルメチーズの大皿が何枚もありました！ 夏の果物はルビー色のサクランボ、緑と紫色のブドウ、黄金色のマンゴーの薄切り！ 大きな容器に入れられたバターとジャム！ そしてもちろん、湯気の立つチャイとシッダコーヒーの入った容器！

一人のスタッフの人がこう話してくれました。

すべてのものがとてもおいしそうに見え、そしておいしかったです。これまでに聞いたことも、実際に感じたことも何度もありますが、食べ物の中には料理をする人が料理中に感じている感情を感じることができます。私は一口食べるごとにさらに喜びを感じ、もっともっと幸せに満たされました。そして私には分かりました。グルマーイの誕生日を祝ってこの壮大な朝食を作っている間、料理を作っていた人たちは確かに、本当に確かに、深い喜びを体験していました。

この料理を食べた時、私たちはグルマーイの愛が形になっているのを感じることができました。朝のアーラティーを歌ったり「シュリー・グル・ギター」を朗唱することが私たちの魂を元気にしてくれたのと同様に、この朝食は私たちの体に栄養を与え、グルマーイのための日に最善を尽くすことができるようにしてくれました。

朝食の後、私たちはアンナプールナー・ダイニングホールをグルマーイの誕生日のお祝いの次の催しの会場に変身させ始めました。私たちはホール全体を隅から隅まで隙間も逃さずに

掃き、すべての椅子とテーブルを別の場所に移動し、カーペットに掃除機をかけ、床をモップで拭き、もうすぐ始まる誕生日のケーキカットの式に必要な機材や設備を整えました。

アートマ・ニディの建物の他の場所も、差し迫るグルマーイの到着のための準備で、活気にあふれていました。多くの人々が下のロビー、ニディ・チョーク、そしてアンナプールナー・ダイニングホールに列を作って集まり、「オーム・ナモー・バガヴァター・ムクターナンダーヤ」をブーパリー・ラーガでチャンティングしていました。そこは皆が心待ちにする甘い空気に包まれていました。私たちには愛するグルマーイを迎える準備ができていました。チャンティングが喜びと献身で輝いていました。ある参加者はこのチャンティングの愛にあふれるエネルギーを通じて、彼女自身とグルマーイとの親密さを体験していました。

グルマーイの到着が間近だと聞いてチャンティングをし始めてから、ほんの一瞬しかたっていないかのようにでした！ グルマーイは、アートマ・ニディへ向かいシヴァ・ナタラージャのムールティへと続く小道を歩いて来ました。あるスタッフの人が彼自身の体験をこのように思い出しました。

遠くから、グルマーイがアートマ・ニディの正面玄関に向かう小道を歩いて行くのを見ました。この瞬間、私の心は興奮に躍り、同時に静かで穏やかだった。私は一瞬目を閉じて頭を下げ、私のグルに敬意を表しました。この沈黙の一瞬、このプラナムのための機会が、私の存在にシャクティの波を送り、それが一日を通して私に元気を与えてくれました。それは私にとってこのお祝いのハイライトでした！

グルマーイはシヴァ・ナタラージャに向かって歩き続け、グルマーイを歓迎するためにアーシュラムの正面に立っていた数人のシッダ・ヨーギたちがその後に行きました。彼らは皆シヴァ・ナタラージャの周りに立って、「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャンボー、マハーデーヴァ・シャンボー」のチャンティングに加わりました。空は雲で覆われていました。空気は心地よく暖かでした。

た。鳥の羽のようなそよ風の感触は、恩恵が柔らかく包んで守ってくれているようでした。神の慈悲深いまなざしの下に、グルマーイの誕生日のお祝いの勢いがどんどん増す中、時間が止まりました。



© 2018 SYDA Foundation®.著作権所有。